



長野県福祉大学校の 皆さんにインタビュー！

諏訪市にある長野県福祉大学校の介護福祉学科に通う14人の「福祉の天使」の皆さんです！
今回は、高齢者・障がい者福祉への就職を予定している3人の学生さんにインタビューしました！
インタビューでお聞きした、福祉に関する疑問や悩みについて先輩職員さんに聞いてみます！

またインタビュー当日は、2日後に迫る学園祭「ひまわり祭」に向けて準備を頑張る皆さんの姿を見ることもできました！



(左) 片岡 優希さん
(中) 佐藤 実優さん
(右) 岩崎 優子さん

福祉の世界にはぼたけ！



Ushiyama Takahiro
牛山 孝浩さん
[下諏訪町] グループホームさくら

先輩からの一言！
やってみないと介護の楽しさや大変さはわかりません。
介護は、いろいろな仕事があり、人間関係など大変なイメージもありますが、やってみないとわからない良さがいっぱいあります。

先輩！ホントをおしえて！
学生さんの不安や悩みについて、先輩職員さんが現場からホントをお届けします！

先輩からの一言！
介護は、幸せをプレゼントするお仕事です。そんなお仕事なので自分も幸せになれます。
介護の世界には色々な施設があり、場所が変われば特色も全然違います。自分がこの一員になりたいと思える所を探して進んでほしいと思います。



Takimoto Chiharu
(左) 滝本 千春さん
Ushiyama Shinji
(右) 牛山 伸二さん
[茅野市] やすらぎの丘

先輩からの一言！
介護職は、利用者さんに一番近い存在で、嬉しい・楽しい気持ちの共有をすごく感じられることは、この仕事ならではの魅力です。
楽しむ心を大切に、自分自身で考え、工夫したケアを心がけましょう。



Saito Katsuya
佐藤 勝也さん
[茅野市] 虹の森



Ikegami Tetsuya
池上 哲也さん [下諏訪町]
ケアセンターグレイスフル下諏訪

先輩からの一言！
このお仕事は、人それぞれに対応の仕方も変わります。常に考え、新しい関わり方にチャレンジできることがやりがいです。
笑わない利用者さんを笑顔にできたときなど、自分の成長を感じられる楽しいお仕事です。



Vajima Aki
矢嶋 亜紀さん [茅野市]
小規模多機能型居宅介護アイリス茅野

先輩からの一言！
ひとつの世界だけでなく、なんでも経験してみたら良いと思う。色々な経験が介護では活かれます。
まずはやってみて、違うと思ったらやめたっていい。また戻りたいと思えるかもしれないから。自分で経験して、感じて決めてほしいなと思います。

先輩からの一言！
介護を目指してくれてありがとうと言いたいです。理論と実践のギャップはどの仕事でも同じです。
相手も十人十色なので、一人一人を見つめてください。利用者さんの今の状態を受け入れ、ありのままを受け止めて一緒に進んでいきましょう。



Kitahara Noriko
北原 紀子さん [茅野市]
テイサービスセンターりんどう苑

先輩からの一言！
介護は、多様な年代のチームワークが必要な仕事です。そんな中、個の部分は埋もれがちですが、自分だけにしかない強み、「自分らしさ」を忘れずに活躍してほしい。
介護の世界で存分に長所を発揮してほしいです！



Ikegami Yohei
池上 洋平さん [諏訪市]
かりんの里サービスセンターきずな

新たに介護の仕事をはじめてみたい方へ
諏訪広域連合 介護保険課では、新たに介護の職場で働きたいと思っている方等を対象に、相談窓口を設けています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

《介護のお仕事相談窓口》
諏訪広域連合 介護保険課 (茅野市役所 6階)
☎ 0266-82-8162 (直通)
🕒 平日 午前8時30分～午後5時15分



介護の仕事に就いたきっかけは何ですか？

保育士を目標に進学しましたが、卒業してすぐに働くことへ、不安と迷いがありました。そのとき、長野県福祉大学は、保育士があれば介護福祉学科に編入ができることを知り、まだまだ学びたいと思い進学。そこで介護を学んだことがきっかけでこの世界に進みました。



Chiharu

高校に通いながら資格を取得しました。ボランティアで「グループホームさくら」へ行き、高校卒業後から働き10年になります。大好きな祖母と過ごすことが好きでしたが、小学生の時に亡くなってしまい、もっと祖母と一緒にいたかったという思いがきっかけで介護職になりました。



Takahiro

祖父母と暮らしていたため、仕事の選択肢に介護がもともとありました。高校卒業後、専門学校に進学して介護福祉士の資格を取得し、20歳のときから介護の世界で働いています。



Aki



あなたにとって介護とは？また目標は何ですか？

「ふくし」という言葉には「しあわせ」という意味があります。

介護は、お世話をするようなイメージがありますが、僕たちがしているのは、利用者さんのできることが増え、お家で過ごすことができるようになるためのお手伝いです。



Shinji



利用者さんができることを大切にしながら、そのお手伝いを自分がすることだと考えています。利用者さんの思いを大切に、生き方を尊重して、それに合わせるようにしています。

今後は、認知症のケアやレクなどの専門資格も取りたいと思っています。



Yohei



お休みはとれますか？プライベートは何してますか？

週休2日でしっかりお休みがあります。プライベートでは、週に4回「塩尻アルマーレ」というチームで、小中学生50人にサッカーの指導をしています。

子供たちの技術もさまざまで、それぞれに合わせて指導することは、介護の仕事に通じるものがあります。



Tetsuya

土日休みで、平日も希望で休むことができるので、子供の学校行事に参加することもできます。休日は、子供たちと過ごしたり、ジャムや野菜漬けなどを手作りして過ごしています。

最近では、手作りマスクに熱中していて、キャラクター物は子供たちにも大好評です。



Noriko



仕事のやりがいや魅力は何ですか？

人との出会いが楽しいです。介護は、自分が自分らしくいられ、人とのつながりが感じられる仕事です。相手のために becoming someone's help becomes someone's strength. It's a job where you can feel the connection with others. It's a job where you can feel the connection with others. It's a job where you can feel the connection with others.



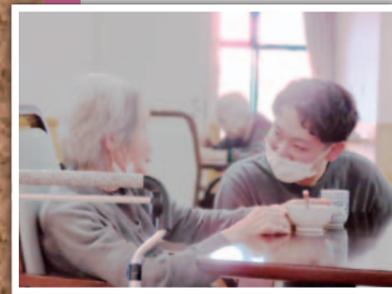
Noriko

人と人とのつながりを感じられ、同じ気持ちを共有することのできる仕事です。できなかったことをできるようになることが目に見えて実感できるのもやりがいです。

また、利用者さんから感謝の気持ちを直接伝えてもらうことができるのもこの仕事ならではの魅力です。



Katsuya



おしえて!

介護のお仕事のホント!



介護の仕事に不安はありましたか？

介護の資格はありましたが、料理をしたことがなかったので利用者さんの食事作りが不安でした。先輩や母に教わり、レシピ本で勉強もしました。今ではなんでも作れるようになり、利用者さんからも好評です。お休みには食事を作って母の帰りを待つときもあり、親孝行できることが嬉しいです。



Takahiro

現場は、全てが教科書通りではありません。失敗をして、自分は向いていないかもと考えたこともありますが、周りの人と比べて落ち込むこともありません。先輩からの励ましの言葉で不安は減りました。今では、利用者さんの生き活きとした姿に励まされながら働いています。



Aki



子育ての制度はしっかりありますが、仕事と家庭（子育て）の両立はできますか？

産休・育休だけでなく、施設内に託児室があり、小さいお子さんでも安心して預けることができるので、早期に復帰する職員さんも大勢います。

妻も介護職なので、お互いに理解があり助かっています。先日、娘が生まれましたので、娘が大きくなったら家族旅行にも行きたいです。



Katsuya



産休・育休、業務調整や時短勤務もでき、託児室もあるので、子育て世代が働きやすい環境が整っています。

家庭では、2児の母をしていて、休日は専ら家族と過ごしています。家事は家族で分担していて、子供たちも自分でお風呂に入ってくれたり協力してやっています。



Chiharu



職場の雰囲気はどうですか？

管理者をやっていますが、一番の新人でもあります。管理者としてやれるのはスタッフに支えられているおかげです。時には頼り、時には頼られ、うまくかみ合っていると思います。

スタッフみんな気が合うので、楽しく仕事しています。自分の苦労した経験が、後輩へのアドバイスに活きていて、僕が先輩から教えてもらったように、後輩にも教えてあげたいです。

スタッフ同士のサポート体制ができていて、目が届かないところは周りのスタッフがサポートしてくれます。介護はサッカーと同じ『チームプレイ』です。



Yohei



Takahiro



Tetsuya

